

資 料

資料1 令和6年度高知県地域学校協働活動推進委員会及び研修会等実績報告（概要）・・・P. 1～P. 3

資料2 関係各課 事業報告
小中学校課・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P. 4
学校安全対策課・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P. 5～P. 13

資料3 令和6年度事業別市町村別事業実績一覧・・・・・・・・・・・・P. 14

資料4 令和7年度高知県地域学校協働活動推進委員会及び研修会等の年間事業計画・P. 15 ～P. 16

資料5 令和7年度事業別市町村別事業実施予定一覧・・・・・・・・・・・・P. 17

資料6 令和6年度地域学校協働本部事業に関する取組状況調査（まとめ）・・・・・・P. 18～P. 23

資料7 NPO法人高知県生涯学習支援センター（学び場人材バンク）事業報告・・・P. 24～P. 28

令和6年度高知県地域学校協働活動推進委員会及び研修会等事業報告(概要)

- 1 推進委員会の実施
- 第1回
- 【開催日】令和6年11月14日
- 【内 容】令和5年度実績報告、令和6年度中間報告等
- 第2回
- 【開催日】令和6年2月13日
- 【内 容】令和6年度事業報告(実績見込)、令和7年度事業計画等

2 研修会等

内容	研修名	日時	会場	内容	講師名	参加人数	満足度	成果	課題と今後の方向性
(1) 全体研修会及び地域コーディネーター研修会	高知県地域学校協働活動研修会 (全体研修会) ※小中学校課との合同開催	令和6年7月31日	高知共済会間 COMMUNITYSQUARE	【分科会】 グループによる情報交換 【全体会】 講演及び質疑 「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進をめざして」	【講師】 福田 範史 氏(文部科学省CSマイスター・鳥取県南部町教育長)	44名	85%	【地域学校協働本部事業】 ・地域学校協働本部設置率 100% ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に向けた取組として、小中学校課と合同で研修会を開催することができた。来年度も合同開催の予定。 ・それぞれの地域や学校に応じた協働活動が実施され、コロナ前のような活気を取り戻した。また、LINEでのボランティアへの連絡の実施など工夫した取組も継続されている。	【地域学校協働本部事業】 ・地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)やボランティアの人材確保・育成 ・環境は整った(コミュニティ・スクール導入率、地域学校協働本部設置率共に100%)ので、今後質の向上が必要となってくる。 ・市町村や学校によって活動内容に差がある。地域学校協働活動事例集の取組を周知するとともに様々な場面で活用し、他本部の活動事例を自本部での実践に結びつけられるように支援する。
	高知県地域学校協働活動 ブロック別研修会 (高知市地域学校協働本部事業研修会)	令和6年10月22日 令和7年1月28日	アスパルこうち 4階ホール	第1回 講演及び質疑 「地域学校協働活動の価値とは？」 グループ別協議 第2回 事務局説明 情報交換 実践発表 「地域とつながる生徒会活動」 グループ別協議	第1回 【研修テーマ】「地域学校協働活動の価値を考える」 【講師】 斉藤 雅洋 氏(高知大学 地域協働学部 准教授) 第2回 【研修テーマ】 子供たちの言葉から学ぶ「学校と地域の連携・協働」 【実践発表者】 潮江中学校生徒会執行部	28名 28名	100% 100%	・コミュニティ・スクールや地域学校協働活動において、子どもの課題解決に取り組むことで、改善・解決につながった割合 89.1% ・民生委員・児童委員の参画率 96% ・厳しい環境にある子どもたちの地域による見守りの効果を実感している学校が増加した。また、民生委員・児童委員と家庭がつながることで、学校との情報共有がより円滑になり、継続的支援につながっている。	・コミュニティ・スクールとの一体的な推進に向け、育てたい子どもの姿を共有し、活動の目的や必要性を明確にした協働活動を展開していくことで、社会に開かれた教育課程の実現につなげていく。そのための核となる、市町村教育委員会とさらなる連携を図り、支援方法等を検討していく。また、市町村担当者向けの研修についても検討していく。 ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動について、管理職だけでなく、教職員等への理解を促進するために研修会のあり方を検討する必要がある。そのために関係各課との情報の共有や連携体制を強化していく。
	高知県地域コーディネーター研修会 (全3回)	令和6年10月28日 令和6年10月29日 令和6年10月31日	第1回:いの町総合保健福祉センター 第2回:四万十市総合文化センターしまんとびあ 第3回:安田町文化センター	[基調講演] 「CSと地域学校協働活動の一体的推進 ～今、求められているコーディネート力～」 [実践発表及び質疑] [グループによるワークショップ]	【講師】 竹原 和泉 氏(NPO法人まちと学校のみらい代表理事) 【実践発表者】 (第1回 中部会場) 川上 確也 氏(いの町立伊野南小学校長・伊野南応援団) (第2回 西部会場) 徳弘 茂生 氏(黒潮町立南郷小学校長・黒潮町地域学校協働本部) (第3回 東部会場) 嶋田 数昌 氏(甲浦地区保小中合同学校運営協議会 会長) 橋本 恵子 氏(地域学校協働活動推進員・桜津っ子育て会)	49名 23名 32名	83% 87% 88%	・見守り活動や学習支援による声かけ等が、子どもたちの心の安定や自尊感情の高まりにつながった。 ・地域学校協働活動研修会(全体研・ブロック別)や地域コーディネーター研修会の継続的実施により協働活動の意義や取組についての理解が深まってきている。	
	高知県社会教育実践交流会	令和7年2月15日	高知市春野文化ホール ピアステージ	◆基調報告 ◆パネルディスカッション ◆交流タイム	高知大学地域協働学部 准教授 斉藤 雅洋 氏 「高知県の社会教育のいま」 実践発表者 大久保 耀子 氏(高知県青年団協議会 会長) 徳増 千里 氏(一般社団法人りぐる 共同代表) 門脇 由紀子 氏(南国市社会教育委員長) コーディネーター 斉藤 雅洋 氏	-	-	-	-

内容	研修名	日時	会場	内容	講師名	参加人数	満足度	成果	課題と今後の方向性
①放課後子ども教室推進事業及び放課後児童クラブ推進事業に係る推進事業に係る支援員等研修	防災・防犯対策研修	令和6年7月8日 令和6年7月10日 令和6年7月17日	東部会場:高知県立青少年センターしまんとびあ 中部会場:高知青少年の家 西部会場:四万十市立文化センター	◆講義・演習:「放課後子ども教室・放課後児童クラブにおける安全計画の作成について」 ◆情報提供:「1人1台タブレット端末等を活用した学校での取組について」	講師:高知県教育委員会事務局学校安全対策課 チーフ(学校安全担当) 上岡 法政 氏 講師:高知県教育委員会事務局小中学校課	184名	98%	【放課後児童対策パッケージ推進事業】 【 資質向上研修 】 (各テーマ共通) ・取組状況調査や市町村ヒアリング、現場訪問の際にニーズを把握することで、実態に沿った研修を行うことにより、昨年度に比べて研修に参加する市町村は増えた。	【放課後児童対策パッケージ推進事業】 【 資質向上研修 】 (各テーマ共通) ・昨年度に引き続き、市町村担当者及び支援員の方からのニーズが高い、発達障害に関わる内容については、アンケート等の内容から個別支援を求めているケースが多いため、市町村ヒアリングの際に、課題を共有していく。視察先での好事例については、市町村担当者及び支援員の方に共有していく。
	防犯対策研修会	令和6年9月13日 令和6年9月17日 令和6年9月24日	東部会場:高知県立青少年センター 西部会場:四万十市総合文化センターしまんとびあ 中部会場:須崎市立市民文化会館	◆講義・演習:「放課後子ども教室・放課後児童クラブにおける防犯対策について」	講師:高知県警察本部生活安全部生活安全企画課地域安全対策推進担当課長補佐兼企画担当課長補佐 近藤 秀明 氏	159名	97%	・昨年度に引き続き、防犯に関する研修会を行い、学び場人材バンクの出前講座のメニューに防犯研修を追加した。自治体単位や放課後児童クラブ単位で訓練を行う箇所も増えてきている。 ・小中学校課から「1人1台タブレット端末等を活用した学校での取組」について、操作体験とあわせて情報提供を行ったことで、小学校がどのようにタブレット端末を活用しているか、放課後子ども教室及び放課後児童クラブの支援員に周知が広がった。	・ヒアリング等の周知や担当者に連絡をしているが、参加率が低い自治体が一定数ある。引き続き、市町村担当に周知するとともに、放課後子ども教室及び放課後児童クラブの視察を行った際に周知していく。
	防災・防犯対策研修・オンデマンド配信	令和6年7月26日～9月30日	オンデマンド配信	◆講義:「放課後子ども教室・放課後児童クラブにおける安全計画の作成について」	講師:高知県教育委員会事務局学校安全対策課 チーフ(学校安全担当) 上岡 法政 氏	—	—		・オンデマンド配信については、現場からのニーズがあることから引き続き継続していく。
	子どもの発達障害等の理解促進研修会	令和6年11月21日 令和6年11月22日 令和6年11月26日	西部会場:四万十市総合文化センターしまんとびあ 中部会場:高知県立青少年の家 西部会場:高知県立青少年センター	◆講義・演習「集団での活動における支援で大切にしたいこと～子どものMIKATAを変える～」	講師:障害児児童通所施設「こころとからだの発達相談室えいところ」 代表 森貴 摩利子 氏	256名	100%		
	子どもの発達障害等の理解促進研修会・オンデマンド配信	令和6年12月17日～令和7年2月14日	オンデマンド配信	◆講義「集団での活動における支援で大切にしたいこと～子どものMIKATAを変える～」	講師:障害児児童通所施設「こころとからだの発達相談室えいところ」 代表 森貴 摩利子 氏	—	—		
	子どもの発達等の理解促進研修会	令和7年1月21日 令和7年1月23日 令和7年1月28日	東部会場:高知県立青少年センター 中部会場:須崎市立市民文化会館 西部会場:四万十市総合文化センターしまんとびあ	◆講義・演習:「集団活動で大切にしたいこと～アタッチメントの視点～」	講師:高知大学 教育研究部 人文社会科学系 教育学部門 准教授 福住 紀明 氏	—	—		
	子どもの発達等の理解促進研修会	令和7年2月中旬～令和7年3月中旬(予定)	オンデマンド配信	◆講義:「集団活動で大切にしたいこと～アタッチメントの視点～」	講師:高知大学 教育研究部 人文社会科学系 教育学部門 准教授 福住 紀明 氏	—	—		
②放課後児童支援員認定資格研修	放課後児童支援員認定資格研修	令和6年9月22日 令和6年10月13日 令和6年11月4日 令和6年12月8日	高知県立高知青少年の家	「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」(平成26年厚生労働省令第63号)に基づく、児童クラブに従事する放課後児童支援員として、必要最低限の知識及び技能の習得とそれを実践する際の基本的な考え方や心得を認識することを目的とした講義等を、1日あたり4科目(1科目90分)、計4日間、1回実施。	NPO法人日本放課後児童指導員協会(委託)	74名 (修了:65名)	—	【放課後児童支援員認定資格研修】 ・放課後児童クラブに配置が必要となる放課後児童支援員の資格を付与する。 ・受講者数(うち修了者数) R5:82(75)→R6:74(65) ・R3より、今後従事を希望する者も含めての募集に変更した。	【放課後児童支援員認定資格研修】 ・市町村担当者ヒアリングでは「人材が不足しており、一部の職員に負担がかかっている。」「研修を受けたくても受講要件を満たさない職員がいる。」等の意見があった。 ・次年度以降も開催することに加え、人材確保に向けた市町村への支援も継続して行っていく。 ・年1回、集合研修での開催としているが、一部修了者や欠席者への受講機会の確保について問い合わせがある。受講者数および一部修了者数の増加等の状況によっては複数回開催の検討が必要である。
③子育て支援員研修 放課後児童	子育て支援員研修 放課後児童コース	令和7年2月11日 令和7年3月2日	高知県立高知青少年の家	地域において子育て支援の仕事に関心を持ち、放課後児童クラブ等に従事することを希望する者に対し、多様な子育て支援分野に関して必要となる知識や技能等を修得するため、これらの支援の担い手となる子育て支援員の資質の確保を図ることを目的とした講義等を、1日あたり3科目(1科目90分)、計2日間実施。	合同会社 All HEROs 代表 中山 芳一 氏	34名 (申込者数)	—	【子育て支援員研修】 ・補助員として勤務する際に必要な知識の習得。 ・放課後児童支援員認定資格研修の受講要件に該当しなくても受講可能。 ・修了者数 R5:29名	【子育て支援員研修】 ・保育や教育関係への従事経験がない者でも放課後児童クラブに従事することができるため、資質に差が生じている。 ・年度当初から市町村へ周知を行い、従事して間もない職員を中心に受講を推奨していく。 ・今後も開催時期の状況によりオンライン研修を取り入れるなど、臨機応変に対応していく。

内容	研修名	日時	会場	内容	講師名	参加人数	満足度	成果	課題と今後の方向性
お よ び プ ロ グ 「高知家の活用親した育ちをの講座をの開催する④「学習プログラムの早寝早起朝ごはんフオーラ養成研修会」	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」のファシリテーター養成研修会	基礎編: 令和6年10月4日	高知県立高知青少年の家	「子どもの心を開くコミュニケーションの仕方」を学ぶ“体験型講演会” ・講義とロールプレイによる体験学習	講師: NPO法人ハートフルコミュニケーション代表理事 菅原 裕子 氏	申込者14名、認定者7名	86.0%	【家庭教育支援基盤形成事業】 ・18市町村 ・家庭教育支援チーム: 4市町村(須崎市、宿毛市、土佐町、日高村) ・「親プロ」活用講座 過去4年間と本年度の成果	【家庭教育支援基盤形成事業】 ・補助金の活用拡大 →未活用の市町村に対して働きかけるとともに、現在活用している市町村に対しても、他市町村の活用事例等を共有して、補助金の活用拡大に向けた働きかけを行う。 ・親プロファシリテーターのスキルアップ →親プロファシリテーター養成研修を行うとともに、既ファシリテーターの学び直しの機会を設けるなどのファシリテーターのスキルを向上するための工夫が必要。
		活用編: 令和6年10月11日	高知県立高知青少年の家	プログラムの概要、プログラム体験			84.3%		
		実践編: 令和6年10月22日	高知県立高知青少年の家	プログラム演習			91.6%		
	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」を活用した講座・研修会	令和6年6月5日	香南市野市東幼稚園	子育てのイライラとうまく付き合う親になろう	高知県教育委員会事務局生涯学習課職員	19名	－	回数 参加者 ファシリテーター派遣 R1 20回 536名 33名 R2 7回 76名 9名 R3 7回 109名 7名 R4 13回 155名 15名 R5 18回 396名 18名 R6 13回 554名 14名 (R6. 12月未現在)	
		令和6年6月14日	四万十町東又保育所	子どもの食事ってこれでいいの？	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	28名			
		令和6年6月15日	四万十町十川小学校	「言葉」の大切さ	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	46名			
		令和6年6月21日	室戸市佐喜浜保育所	子育てのイライラとうまく付き合う親になろう	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	11名			
		令和6年8月19日	土佐清水市きらら清水保育園	子ども同士のトラブル…どう解決する？	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	12名			
		令和6年8月22日	土佐市みのり保育園	子どもの困った行動に対する保育士の対応の仕方について	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	5名			
		令和6年10月12日	高知市昭和小学校	いのちの教育	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	160名			
		令和6年10月24日	四万十市大用小学校	子どもの規範意識ってどうやって育てるの？	高知県教育委員会事務局生涯学習課職員	37名			
		令和6年10月26日	高知市春野東小学校PTA	親子絵本パーソナル診断	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	12名			
		令和6年11月6日	仁淀川町池川こども園	親子読書の大切さ、年令にあった絵本の選び方	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	47名			
		令和6年11月23日	安芸市井ノ口小学校	子どもの規範意識ってどうやって育てるの？	高知県教育委員会事務局生涯学習課職員	13名			
		令和6年11月29日	高知市春野西小学校	読み聞かせで育む親子の絆	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	60名			
		令和6年12月20日	高知市高知国際中学校	いのちの学習	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	104名			
		令和7年1月18日	四万十市中筋小学校	子どもの「ケータイ・スマホ」どう考える？	高知県教育委員会事務局生涯学習課職員	65名			
		令和7年1月23日	土佐市みのり保育園	こどもとの関わり	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	12名			
		令和7年2月6日	土佐清水市子育て支援センターどんぐりっこ	子どもは生き生きしてる？	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	5名			
		令和7年2月13日	須崎市子育て支援センターサンサンひろば	スキんシップの大切さ	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター				
	「高知家の早寝早起朝ごはんフオーラム2024」	令和7年1月中旬～(約1ヶ月間)	オンライン研修	講演動画配信 講演1「じぶんではじめる、早ね早おき朝ごはん」 講演2「スマホでよふかし、どうよくないの？」	高知大学教育研究部人文社会科学系教育学部門 講師 竹内 日登美 氏	－	－		
⑤ 「学習相談・学習支援」検討会	「学習相談・学習支援」検討会	令和6年11月29日	高知県立心の教育センター	「地域における学びを通じたステップアップ支援促進事業」の事業内容説明及び実施状況 高等学校卒業程度認定試験について→・高知県の現状 ・若者サポートステーション利用者実施状況 各市町村の生活保護受給世帯数について 意見交換→・学習相談・学習支援に関する具体的方策 ・高等学校卒業程度認定試験 ・支援対象者の誘導 ・高校中退から就労に至るまでの間に必要な支援 ・支援における関係機関の連携 ・事業成果の評価検証 など	若者サポートステーション所長等	11名	－	【地域における学びを通じたステップアップ支援促進事業】 ・参加者(11名[当該事務局2名含む]) 教育委員会事務局高等学校課1名 同 人権教育・児童生徒課1名 県子ども・福祉政策部地域福祉政策課2名 同 子ども家庭課1名、同福祉指導課1名 県商工労働部・雇用労働政策課1名 各若者サポートステーション2名 ・各若者サポートステーションによる支援状況の理解促進と各課の今後の事業展開に向けた連携を図ることができた。 ・11月末実績(若者サポートステーション) 前年度末在籍利用者 55名 新規登録者 60名 学習相談 507件、実人数 95名 学習支援 472件、実人数 38名 アウトリーチ 204件、実人数 29件 就労 26名(正規0、非正規 25、職業訓練1) 修学 9名(進学3、復学2、高卒認定4)	【地域における学びを通じたステップアップ支援促進事業】 ・高卒認定試験については、新教育課程となつてから内容も変わり、R8年度からは「情報」の科目も新たに入ってくるため、対策が必要である。 ・サポートステーション利用者支援については、対象者個人だけではなく、家庭全体に対しても支援が必要なため、他部署との連携が不可欠である。 ・次年度においても、労働、福祉部局等とのさらなる連携・協働を推進するため、年1回、実施していく。

「地域とともにある学校づくり」推進に向けての取組 (R6)

～コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進～

市町村名

管内

CS 数 :

協働本部数 :

市町村の「学校・家庭・地域の連携推進」に係る方針

市町村が掲げる「地域連携」に関わる方針や目標をご記入ください。

1 昨年度 (R5 年) の成果と課題

2 令和 6 年度の市町村教育委員会が取り組む内容 (支援体制)

他の地域に紹介できる好事例をお書きください。

3 一体的推進につながった事例

〔学校運営協議会開催日程等〕

	学校名	開催日	協議内容
①	□□小	R6. 4. 30	目指す子ども像について
②	〇〇中	R6. 6. 20	夏祭りについて (生徒参加有り)
③			

〔地域との連携〕

	名 称	活動内容
(①) の協議内容から	□□小協働本部	子どもたちのために地域全体でできることについて
(②) の協議内容から	〇〇中協働本部	夏祭りの運営支援について
() の協議内容から		

* 「一体的推進につながった好事例」についての参考資料等があれば、ご提出をお願いします。

令和6年度第2回高知県地域学校協働活動推進委員会

高知県地域ぐるみ学校安全体制整備推進事業

資料



提供：高知県スクールガード・リーダー連絡協議会 元会長 山下正和 氏

学校安全対策課

令和6年度高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業

学校安全対策課

事業目的

子供たちが安全で安心して教育を受けられるよう、学校や通学路における子供の安全を確保するため、学校、家庭及び地域の関係機関・団体が連携を図り、地域社会全体で学校安全に取り組む体制を整備する。

事業内容

- (1) スクールガード・リーダーによる学校や通学路（スクールバス乗降時も含む）の巡回指導等の実施
- (2) スクールガード（学校安全ボランティア）養成講習会の開催
- (3) スクールガード等の増員のための活動の実施及び学校安全活動の実施

令和6年度 実績

○スクールガード・リーダー連絡協議会の開催

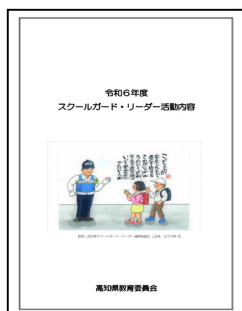
- ・日時：令和6年5月30日（木） 14:00～16:00

オーテピア高知図書館 4階 研修室

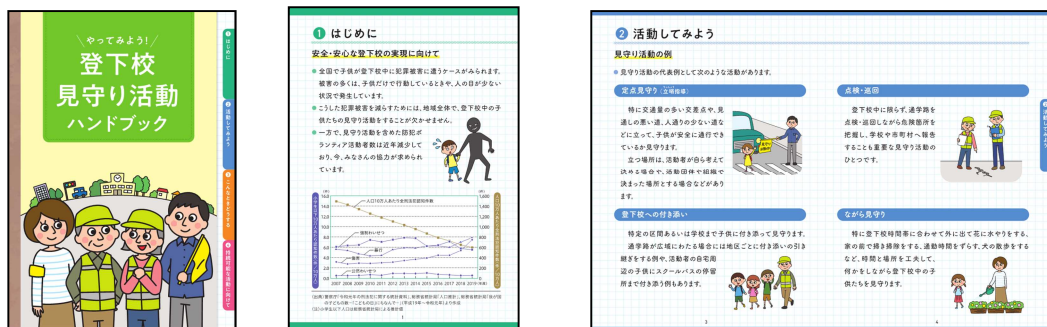
- ・目的：地域全体で学校の安全に取り組む体制を整備するため、スクールガード・リーダー活動内容や見守り活動の充実に向けて、高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業の趣旨の共有及び情報交換を行い、取組の充実を図る。
- ・参加人数：スクールガード・リーダー 24名（※令和5年度参加者 29名）
各市町村担当者 17名（※令和5年度参加者 16名）



○「スクールガード・リーダーの活動内容リーフレット」（学校安全対策課 作成）を各スクールガード・リーダー及び各市町村担当者に配付



○「登下校見守り活動ハンドブック」（文部科学省 作成）を各スクールガード・リーダー及び各市町村担当者に配付



○学期末ごとに、事業実施市町村から提出される「スクールガード・リーダー活動報告書」（写し）からスクールガード・リーダーの活動内容を把握、必要に応じて市町村に聞き取り
 ※年度末に、事業実施各市町村から「実績報告書」の提出があり、実績及び成果と課題を確認予定

成果と課題

【成果】

- スクールガード・リーダーによる巡回指導等の実施（※スクールガード・リーダー活動報告書より）
 - ・見守り活動を行う中で、危険だと感じた場所や児童等の行動等については、学校へすぐに報告するようにした。その後、学校や教育委員会等もすぐにできる対応を考えており、地域で連携し、学校安全に取り組む体制が整えられている。
 - ・見守り活動中に子供たちへ積極的に声かけするだけでなく、学校行事等へ参加したこともあり、子供たちからも積極的に挨拶されるようになった。子供たちに、見守ってもらっているという安心感を与えることができたのではないかな。
- 学校安全活動
 - ・児童の見守り、声かけ、挨拶運動、学校行事への協力など、地域の実情に即した幅広い活動を実施することで、地域の見守り活動として定着しつつある。

【課題】

- スクールガード・リーダーによる巡回指導等の実施
 - ・スクールガード・リーダーの人材不足
 - ・スクールガード・リーダー不在時の子供たちの安全確保策
 - ・児童生徒の安全を見守る体制の強化
- 学校安全活動
 - ・新規スクールガード（学校安全ボランティア）の確保
 - ・スクールガード同士の情報交換
 - ・各学校等と連携した活動内容の充実、そのための体制づくり

令和6年度高知県学校安全の取組状況に関するアンケートより

スクールガード等の見守り実施状況（PTAの見守り活動を含む）は、平成26年度以降は小学校において100%となっている。今後は、見守り活動が組織的に行われるよう取り組む必要がある。

今後に向けて

- ・「登下校防犯プラン」に基づき、組織的な見守り活動実施や児童生徒の安全確保の強化に向けて、事業未実施市町村に本事業の活用を今後も働きかけていく。特に、地域学校協働活動の見守り活動に係る経費を本事業から補助できることを市町村に周知する。

※令和6年度は22市町村で事業実施、令和7年度は25市町村に増加予定。

- ・スクールガード・リーダーの活動だけでなく、スクールガードの養成や、ながら見守り活動の有用性を改めて周知し、取組が拡充するよう働きかけていく。
- ・スクールガード・リーダー連絡協議会については、令和7年度も実施予定。講師は、県外講師を予定しており、講演だけでなく実技を交えながら、見守り活動の充実につながるようにしていく。

地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業



学校、通学路の安全確保に向け、昨今の児童生徒の尊い命を奪う交通事故・事件の発生も踏まえ、スクールガード・リーダー増員による見守りの充実や、スクールガード等のボランティアの養成・資質向上を促進することにより、警察や保護者、PTA等との連携の下で見守り体制の一層の強化を図る。

■実施主体：都道府県及び市町村 ■補助率：国庫補助率1/3、都道府県・市町村各1/3 ※市町村直接実施の場合2/3負担

スクールガード・リーダーの育成支援

- スクールガード・リーダーの資質を備えた人材（警察官OB・教職員OB・防犯協会役員等）に対する育成講習会の実施

スクールガード・リーダーに対する活動支援

- スクールガード・リーダーによる指導、見守り活動に対する謝金、各学校を定期的に巡回するための旅費等の補助
- 学校等の巡回活動等を円滑にするためにスクールガード・リーダーの連絡会等の開催を支援、装備品の充実

スクールガード・リーダー育成講習会、スクールガード養成講習会の開催に係る経費を補助し、**見守りの人材確保と質の向上**



スクールガード（ボランティア）の養成・資質向上

- 通学路で子供たちを見守るスクールガードの防犯に対する知識、非常時の対応策等を身に付けさせるための養成講習会を実施
- 活動の参考となる資料を配布することによる見守りの質の向上

スクールガード増員による見守りの強化及び活動に対する支援

- 「登下校防犯プラン」等に基づく、登下校時のパトロールや地域の連携の場構築など防犯活動への支援
- 子供の見守り活動に係る帽子や腕章などの消耗品費、ボランティア保険料の補助

スクールガード・リーダーがスクールガードに対して、**見守り活動・警備上のポイントや不審者対応等について指導・助言**

地域ぐるみで子供の安全を守る体制構築

高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業

目的・・・地域社会全体で学校安全に取り組む体制を整備し、子どもたちが、安全で安心して学校生活を送ることができる学校の確立をめざす。

②
スクールガード養成講習会
の開催

☆スクールガード（学校安全ボランティア）を養成するための講習会の開催

①スクールガード・リーダー
による学校や通学路（ス
クールバスの乗車時も含
む）の巡回指導等の実施

☆警察官OB等、防犯の専門家をスクールガード・リーダーとして委嘱
☆学校への巡回指導、登下校の見守り活動への助言、を実施

③
スクールガード等の増員
のための活動の実施及び
学校安全活動の実施

☆スクールガード等を増員するための広報活動等の施策を実施
☆学校、家庭、地域が連携して子どもの安全を見守る活動を実施

地域ぐるみで子どもの安全を守る体制の確立

高知県犯罪のない安全安心まちづくり条例

第16条1項 学校等における児童等の安全の確保のための指針

第17条1項 通学路等における児童等の安全の確保のための指針

高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費補助金

補助率：2/3（国1/3・県1/3）＊中核市除く市町村が対象

◎次の①～③の事業を単独実施でも複数実施でも可

	事業名	事業内容	補助対象経費	経費に係る留意事項	R6年度の状況
①	スクールガード・リーダーによる学校や通学路（スクールバスの乗車時も含む）巡回指導等	・警察官OBや教職員OB、地域安全活動の中心として活動している者等をスクールガード・リーダーとして委嘱する。 ・スクールガード・リーダーは、各学校を定期的に巡回し、警備のポイント、改善すべき点などの指導や、スクールガード（学校安全ボランティア）に対する助言等を行う。 ・スクールガード・リーダーの配置人数、対象とする範囲については、各地域の実情に応じて決めることができることとするが、小学校5校に対して1名程度の割合を原則とする。 ・なお、巡回指導等の対象校については、幼稚園、保育所、中学校、特別支援学校等も対象とすることができる。	・報償費	（注意事項） 国の予算等の都合により希望どおりとならない場合があります。 ・報償費のみ。1日2時間以上の活動、5千円を上限とする。 ・スクールガード・リーダーの活動日数については、年間120日以内とする。	・22市町村で実施 ・スクールガード・リーダー44名に委嘱
②	スクールガード養成講習会	・学校や通学路で子どもたちを見守るスクールガードを養成するための講習会を開催する。 ・なお、開催に当たっては、多くの方々が参加することができるよう、開催場所、開催回数等に配慮するものとする。	・報償費（講師謝金） ・旅費 ・使用料及び賃借料（会場借上料） ・需用費（印刷製本費、消耗品費） ・役務費（通信運搬費・保険料）	・スクールガード養成講習会の開催経費については、10万円を上限とする。 ・ただし、スクールガードに対する報償費、旅費は対象外とする。	・安芸市で実施
③	スクールガード等の増員のための活動及び学校安全活動	・スクールガード等を増員するための広報活動等施策を実施する。 ・安全のために、学校安全ボランティア等を活用しつつ、登下校時におけるパトロール、防犯・防災訓練の実施、地域安全マップの作成等、学校・家庭・地域が一体となり子どもの安全に関する取組を実施する。	・報償費（講師謝金） ・旅費 ・使用料及び賃借料（会場借上料） ・需用費（印刷製本費・消耗品費） ・役務費（通信運搬費・保険料）	・帽子や腕章など見守り活動に直接必要な経費及び家庭や地域の関係機関・団体と連携の場の構築に必要な経費とし、1市町村につき30万円を上限とする。ただし、スクールガードに対する報償費及び旅費は、原則として対象外とする。 ・なお、消耗品費等については、学校やPTAが使用するものと明確に区別すること。 ・スクールガード・リーダーやスクールガード等の装備品（さすまた、防刃ベスト・グローブ等）を対象とすることができる。 ・備品購入費は、対象外とする。	・芸西村、南国市、いの町、須崎市、大月町で実施

令和6年度 高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業 スクールガード・リーダー名簿

		担当地域 (市町村等)	登録 年度	巡回等 学校数	巡回等 うち 小学校	拠点校（部署）	巡回担当予定校（園）	教育委員会		
								担当部署	担当者	連絡先（tel・fax）
1	1	室戸市	H18	4	2	室戸市 教育研究所	佐喜浜小、室戸小、 佐喜浜中、室戸中	室戸市教育委員会 学校教育課	高崎 正太	tel 0887-22-5141 fax 0887-22-1120
2			H19	5	3		元小、吉良川小、羽根小、吉良川 中、羽根中			
3	2	安芸市	H30	3	2	安芸市 少年育成 センター	川北小、土居小、安芸中	安芸市 少年育成センター	勝賀瀬 浩太	tel 0887-35-1020 fax 0887-35-1051
4			H25	3	3		下山小、伊尾木小 井ノ口小			
5			H31	3	3		赤野小、穴内小 安芸第一小			
6	3	東洋町	H23	2	1	野根小学校	野根小 野根中	東洋町教育委員会	土屋 美奈子	tel 0887-29-3037 fax 0887-24-3102
7			R2	2	1	甲浦小学校	甲浦小 甲浦中			
8	4	奈半利町	H22	2	1	奈半利町 教育委員会	奈半利小、認定こども園なはり	奈半利町教育委員 会	天野 恵太	tel 0887-38-8188 fax 0887-38-8166
9	5	北川村	R3	2	1	北川村 教育委員会	北川小 北川中	北川村教育委員会	大西 貴美子	tel 0887-32-1223 fax 0887-32-1132
10	6	安田町	R2	2	1	安田町 教育委員会	安田小 安田中	安田町教育委員会	山本 祥平	tel 0887-38-6714 fax 0887-38-6717
11	7	芸西村	新	4	1	芸西村 教育委員会	芸西小、芸西中、 芸西幼稚園、芸西保育所、	芸西村教育委員会	土居 弘和	tel 0887-33-2400 fax 0887-32-2014
12			R5	4	1		芸西小、芸西中、 芸西幼稚園、芸西保育所、			
13	8	香南市	新	5	3	香南市 教育委員会	佐古小、香我美小、夜須小、 夜須中、香我美中	香南市教育委員会 学校教育課	高崎 菜摘	tel 0887-50-3019 fax 0887-50-3020
14			R3	6	4		赤岡小、野市小、野市東小、 吉川小、赤岡中、野市中			
15	9	南国市	R2	4	4	南国市 教育委員会	岡豊小、久礼田小、国府小、 奈路小	南国市教育委員会 学校教育課	今村 潤弥	tel 088-880-6568 fax 088-880-6201
16			H24	4	4		後免野田小、長岡小、日章小、 大湊小			
17			H27	4	4		大塚小、三和小、稲生小、 十市小			
18			R5	1	1		白木谷小			
19	10	大豊町	R4	1	1	大豊町 教育委員会	大豊学園（義務教育学校）	大豊町教育委員会 人づくり班	宮岡 佐知子	tel 0887-72-1031 fax 0887-72-1032
20	11	いの町	R5	3	2	いの町 教育委員会	伊野南小、川内小、伊野南中	いの町教育委員会	戸田 友紀	tel 088-893-1922 fax 088-893-2121
21			新	1	1		枝川小			
22	12	土佐市	H30	6	4	土佐市 少年育成 センター	土佐南中、新居小、高石小、高岡第 一小、高岡中、宇佐小	土佐市 少年育成センター	金澤 奈月	tel 088-852-7696 fax 088-852-5241
23			H30	6	5		高岡第二小、蓮池小、波介小、北原 小、戸波小、戸波中			
24	13	須崎市	R3	7	4	多ノ郷小学校	南小、多ノ郷小、吾桑小、浦ノ内小 南中、浦ノ内中、朝ヶ丘中	須崎市教育委員会 学校教育課	松本 佐和	tel 0889-42-5291 fax 0889-40-0073
25			R5	6	4	須崎小学校	上分小、新莊小、安和小、須崎小 上分中、須崎中			
26	14	日高村	H21	5	3	日高村教育委員会 教育支援室	加茂小、日下小、能津小 日高中、加茂中	日高村教育委員会 教育支援室	坂本 佐織	tel 0889-24-5115 fax 0889-20-1572
27	15	梶原町	R2	2	1	梶原学園	梶原小 梶原中	梶原町教育委員会 生涯学習課	加藤 和嘉子	tel 0889-65-1350 fax 0889-40-2055
28	16	四万十町	新	3	3	四万十町 少年補導 センター	東又小、影野小、仁井田小	四万十町教育委員 会 生涯学習課	中村 良輔	tel 0880-22-3576 fax 0880-29-0073
29			R5	4	4		川口小、窪川小、七里小、米奥小			
30			H29	4	4		田野々小、昭和小、十川小、 北ノ川小			
31	17	四万十市	R2	4	3	具同小学校	具同小、中筋小、東中筋小 中村西中	四万十市教育委員 会 学校教育課	稲田 智洋	tel 0880-34-5445 fax 0880-34-4271
32			H30	4	4	中村南小学校	中村南小、竹島小、下田小、八束小			
33			R5	2	1	西土佐小学校	西土佐小、西土佐中			
34			新	4	3	東山小学校	東山小、大用小、腰岡小、中村中			
35			H27	3	2	中村小学校	中村小、利岡小、中村中			
36	18	土佐清水市	R1	3	2	土佐清水市 少年補導 センター	清水小、足摺岬小、清水中	土佐清水市 少年補導センター	永野 博文	tel 0880-82-3501 fax 0880-83-0782
37			R1	2	2		三崎小、下川口小			
38	19	宿毛市	H26	4	4	宿毛市 青少年育成 センター	宿毛小、咸陽小、平田小、 山奈小	宿毛市教育委員会 学校教育課	山岡 理奈	tel 0880-62-1246 fax 0880-62-1272
39			H23	4	4		宿毛小、大島小、咸陽小、 小筑紫小			
40	20	黒潮町	H19	3	2	黒潮町 こどもサポ ートセンター	拳ノ川小、佐賀小 佐賀中	黒潮町教育委員会 生涯学習係	高橋 佐恵	tel 0880-55-3117 fax 0880-55-3119
41			H28	6	5		上川口小、南郷小、入野小、 三浦小、田ノ口小、大方中			
42	21	三原村	H30	2	1	三原村 教育委員会	三原小 三原中	三原村教育委員会 学校教育係	井上 明史	tel 0880-46-2559 fax 0880-46-2560
43	22	大月町	R1	2	1	大月小学校	大月小 大月中	大月町教育委員会	島崎 陸	tel 0880-73-1118 fax 0880-73-1815
44			R5	2	1		大月小 大月中			
	22 市町	計 44人		153	111					

令和6年度 高知県スクールガード・リーダー連絡協議会 開催要項

1 趣 旨

地域全体で学校の安全に取り組む体制を整備するため、スクールガード・リーダーの活動内容や見守り活動の充実に向けて、高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業の趣旨の共有及び情報交換を行い、取組の充実を図る。

2 主 催 高知県教育委員会

3 日 時 令和6年5月30日（木） 14:00～16:00

4 会 場 オートピア高知図書館 4階 研修室 （高知市追手筋2-1-1 TEL: 088-823-4946） ※会場地図は別紙に記載

5 参加対象 令和6年度高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業 市町村教育委員会事業担当者及びスクールガード・リーダー

6 日程及び内容

〈日程〉

14:00	14:15	14:35	14:55	15:05	15:45	15:55	16:00
開会 自己紹介	説明 (県教委から)	講話 (県警から)	休憩	講話 (土佐市教育研究所 所長から)	質疑・応答	閉会	
	(20分)	(20分)	(10分)	(40分)	(10分)		

〈内容〉

- ①説 明 「高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業の趣旨について」
「スクールガード・リーダーの活動や見守り活動の充実に向けて」
高知県教育委員会事務局 学校安全対策課
- ②講 話 「不審者情報の状況と見守りのポイント」
高知県警察本部 生活安全部 人身安全対策課
- ③講 話 「学校とスクールガードとの連携について」
土佐市教育研究所 所長 吉門 直子 氏
(前 土佐市立蓮池小学校 校長)

市町村名		地域学校協働活動						放課後児童対策パッケージ(小学校)		家庭教育 支援事業
		本部数	実施学校数					児童 クラブ	子ども教室	
			小学校	中学校	義務教育 学校	高校	その他 (幼・保)			
1	室戸市	6	5	4			1	2	4	
2	安芸市	9	8	1				5	10	
3	南国市	17	13	4				18	3	
4	土佐市	11	9	3				8	7	○
5	須崎市	10	8	5				6	5	○
6	宿毛市	10	8	5				3	4	○
7	土佐清水市	1	6	1				1	4	○
8	四万十市	15	13	3				14	9	
9	香南市	9	7	4				12	3	
10	香美市	9	7	3			1	10	4	○
11	東洋町	1	2	2			2		1	
12	奈半利町	1	1	1			1	1	1	
13	田野町	1	1	1			1		1	
14	安田町	1	1	1			1		2	
15	北川村	1	1	1			1		1	○
16	馬路村	1	2	2					1	○
17	芸西村	1	1	1			2	1	1	○
18	本山町	1	2	1				1	2	
19	大豊町	1			1				3	
20	土佐町	1	1	1					1	○
21	大川村	1			1				1	○
22	いの町	8	7	5				8	3	○
23	仁淀川町	1	3	2					3	○
24	中土佐町	3	3	2			1	1	2	○
25	佐川町	5	4	2				3	3	
26	越知町	1	1	1				1		○
27	橋原町	1	1	1					1	
28	日高村	1	2	1				1	2	○
29	津野町	2	3	2			2		3	○
30	四万十町	14	12	3				1	12	○
31	大月町	1	1	1					1	○
32	三原村	1	1	1					1	
33	黒潮町	1	7	2					4	
34	学校組合	(1)	(1)	(1)				1		
35	高知市	48(56)	36(39)	12(17)	2			88	41	
36	県立	9				9				
事業実施予定 合計		204	172	79	4	9	13	186	144	18
合計		(213)	(176)	(85)	4	9	13	186	144	18

※地域学校協働活動の()内の数字は、高知市版地域学校協働本部実施校7校、国の示す本部の3要件を満たす高知市の学校4校及び一財対応の学校組合2校を含む。

令和 7 年度高知県地域学校協働活動推進委員会及び研修会等の年間事業計画

1. 事業の総合的なねらい

地域住民等の参画による地域の実情に応じた取組を有機的に組み合わせて、学校に対する多様な協力活動や、学習活動等を通じて地域のつながり・絆を強化し、地域の活性化を図る取組、放課後等に子どもたちの安全・安心な活動場所を確保して学習や様々な体験・交流活動の機会を提供する放課後等支援、また保護者への学習機会の提供や相談対応などの家庭教育支援等を実施し、子どもたちの社会性・自主性・創造性等の豊かな人間性を涵養するとともに、地域社会全体の教育力の向上を図り、地域の活性化や子どもが安心して暮らせる環境づくりを推進する。

2. 重点取組

- (1) 市町村担当者、地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）、学習支援員、協働活動リーダー、協働活動サポーター、特別支援・共生サポーター、放課後児童支援員等の資質向上を目的とした各種の研修会を開催し、情報交換・共有の場とする。
- (2) 高知市に配置している学校地域連携推進担当指導主事とともに、コミュニティ・スクールや地域学校協働本部の設置促進と活動内容の充実を図る。
- (3) 子どもたちの見守り機能をさらに発揮するため、より多く、より幅広い層の地域住民や団体等に、きめ細かく密接に学校に関わっていただく形をつくるなど、学校と地域がパートナーとして子どもたちを見守り育てる高知県版地域学校協働本部の取組を推進する。
- (4) 「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」の普及・啓発を図るとともに、ファシリテーターを養成する研修会を実施する。
- (5) 事業実施市町村へのヒアリングやアンケート等により、事業の効果や課題について調査を行い、事業を検証するとともに、市町村が実施する運営委員会や研修会に参加し、円滑な事業運営を支援する。
- (6) 若者サポートステーションの修学・就労支援により、高等学校未卒の若者（20 歳から 39 歳及び市在住の 15 歳から 19 歳）の社会的自立を推進する。

3. 事業計画

(1) 推進委員会

時期	内 容
11 月上旬	・ 令和 6 年度事業報告 ・ 令和 7 年度中間報告 等
1 月下旬～ 2 月上旬	・ 令和 7 年度事業報告 ・ 令和 8 年度事業計画 等

(2) 研修会等

①全体研修

時期	内 容
8 月 1 8 日(月)	高知県地域学校協働活動研修会（全体研修会）※小中学校課との合同開催 ・ 講演、実践発表、意見交換 等

10月21(火) ～23日(木)	地域コーディネーター研修会 ※3会場で各1回(西部・中部・東部) ・講演、実践発表、ワークショップ、意見交換等
2月	第10回高知県社会教育実践交流会 ・実践発表、パネルディスカッション、交流タイム 等

②放課後児童対策パッケージ推進事業に係る支援員等研修

■放課後児童対策パッケージ推進事業に係る資質向上研修 ※東部、中部、西部地区別に開催

- ・安全・防災(6月)
- ・安全(9月)
- ・子どもの発達障害等の理解促進研修会(11月)
- ・防犯(1月)

※時宜を得た研修の必要性が生じた場合は、テーマの変更または追加で1テーマ実施

■放課後児童支援員認定資格研修(10月～12月)

- ・年1回(1回あたり16科目24時間、計4日間の連続講座)

■子育て支援員研修 放課後児童コース(9月)

- ・年1回(6科目9時間、計2日間の連続講座)

③「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」を活用した家庭教育支援を行うファシリテーター養成研修会及び講座の開催

- ・段階的なファシリテーター養成(基礎編・活用編・実践編)
- ・保育所や地域子育て支援センター等での講座の開催…ファシリテーター認定者の派遣

④「『学習相談・学習支援』検討会」の開催

- ・若者サポートステーションについての理解促進(支援状況等)
- ・教育委員会や福祉部局、労働関係部局等との連携・協働する推進体制の構築に努める

(3) その他

- ・高知県版地域学校協働本部への展開に向けた実施校における取組
 - 3要件①充実した地域学校協働活動の実施
 - ②学校と地域との定期的な協議の場の確保
 - ③民生・児童委員の参画による見守り体制の強化
- ・県小中学校長会や県民生委員・児童委員協議会連合会総会、社会教育関係団体等との協力支援体制の強化や地域学校協働本部実践ハンドブックや事例集等の活用により、地域学校協働本部の活動の充実、質の向上に取り組む
- ・地域学校協働本部事業及び放課後児童対策パッケージ推進事業(放課後子ども教室、放課後児童クラブ)に関する取組状況調査の実施(6～10月頃)

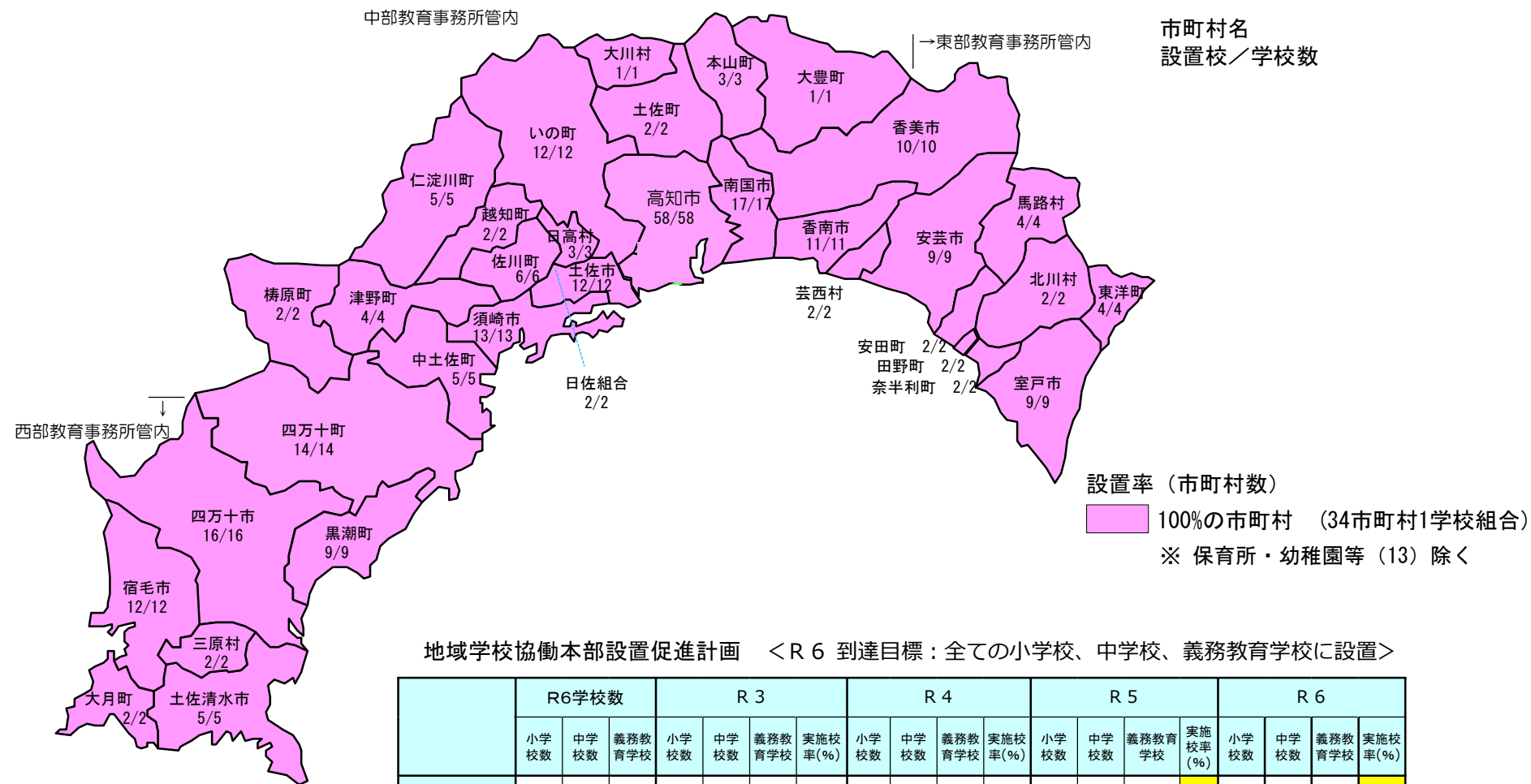
市町村名	地域学校協働活動						放課後児童対策パッケージ(小学校)		家庭教育 支援事業
	本部数	実施学校数					児童 クラブ	子ども教室	
1 室戸市	5	4	4			1	2	3	
2 安芸市	9	8	1				5	10	
3 南国市	17	13	4				19	3	
4 土佐市	11	9	3				7	7	○
5 須崎市	10	8	5				6	5	○
6 宿毛市	10	7	5				3	4	○
7 土佐清水市	1	3	1				1	3	○
8 四万十市	15	13	3				14	8	○
9 香南市	9	7	4				12	2	
10 香美市	9	7	3			1	10	5	○
11 東洋町	1	2	2			2		1	
12 奈半利町	1	1	1			1	1	1	○
13 田野町	1	1	1			1		1	
14 安田町	1	1	1			1		2	
15 北川村	1	1	1			1		1	○
16 馬路村	1	2	2					1	○
17 芸西村	1	1	1			2	1	1	○
18 本山町	1	2	1				1	2	
19 大豊町	1			1				3	
20 土佐町	1	1	1					1	○
21 大川村	1			1				1	○
22 いの町	8	7	5				8	4	○
23 仁淀川町	1	2	2					3	○
24 中土佐町	3	3	2			1	1	2	○
25 佐川町	5	4	2				3	3	
26 越知町	1	1	1				1		○
27 梶原町	1	1	1					1	
28 日高村	1	2	1				1	2	○
29 津野町	2	2	2			2		3	○
30 四万十町	14	11	3				1	11	○
31 大月町	1	1	1					1	○
32 三原村	1	1	1					1	
33 黒潮町	1	7	2					4	
34 学校組合	(1)	(1)	(1)				1		
35 高知市	52(56)	38(39)	14(17)	2			89	41	
36 県立	9				9				
事業実施予定 合計	207	171	81	4	9	13	187	141	20
合計	(212)	(173)	(85)	4	9	13	187	141	20

※地域学校協働活動の()内の数字は、高知市版地域学校協働本部実施校3校、国の示す本部の3要件を満たす高知市の学校1校及び一財対応の学校組合2校を含む。

令和6年度 地域学校協働本部事業に関する 取組状況調査(まとめ)



R 6 地域学校協働本部設置状況



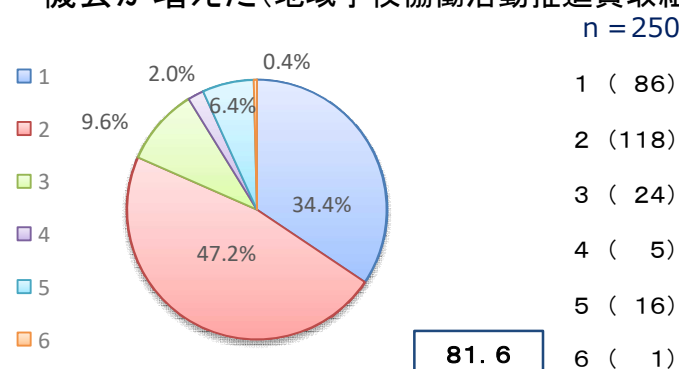
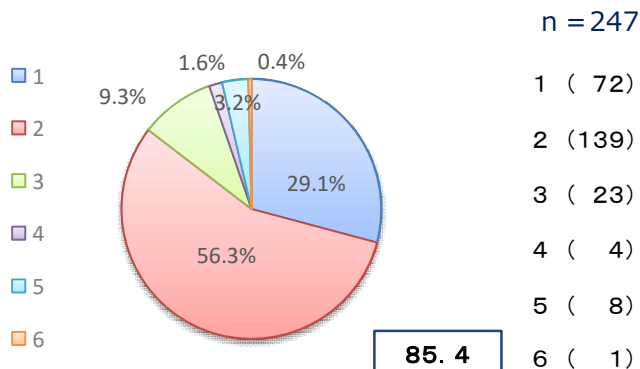
地域学校協働本部設置促進計画 < R 6 到達目標：全ての小学校、中学校、義務教育学校に設置 >

	R6学校数			R 3				R 4				R 5				R 6			
	小学校数	中学校数	義務教育学校	小学校数	中学校数	義務教育学校	実施校率(%)	小学校数	中学校数	義務教育学校	実施校率(%)	小学校数	中学校数	義務教育学校	実施校率(%)	小学校数	中学校数	義務教育学校	実施校率(%)
東部教育事務所	36	21		36	22		100	36	22		100	36	22		100	36	21		100
中部教育事務所	68	34	2	72	37		100	70	34	2	100	70	34	2	100	68	34	2	100
西部教育事務所	33	13		37	20		100	37	16		100	36	16		100	33	13		100
高知市	39	17	2	27	17	2	79.3	29	17	2	82.8	39	17	2	100	39	17	2	100
計	176	85	4	172	96	2	95.7	172	89	4	96.4	181	89	4	100	176	85	4	100

1 本部事業を実施してみて、どの程度効果があったと感じていますか。

選択肢 1 効果が得られた 2 ある程度効果が得られた 3 あまり効果が得られなかった
4 効果が得られなかった 5 分からない (6 無回答)

(1) 教員の働き方改革につながった(学校取組状況調査より) (2) 学校外で、子どもたちと地域住民が交流する機会が増えた(地域学校協働活動推進員取組状況調査より)

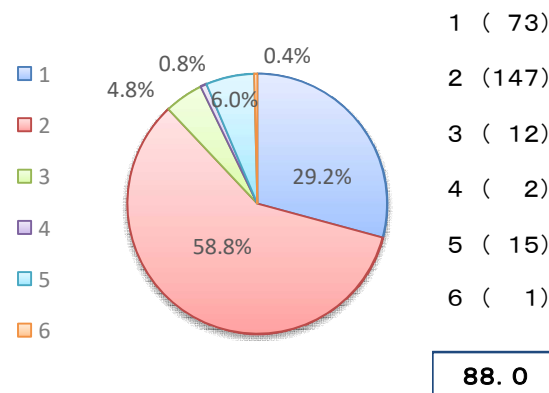
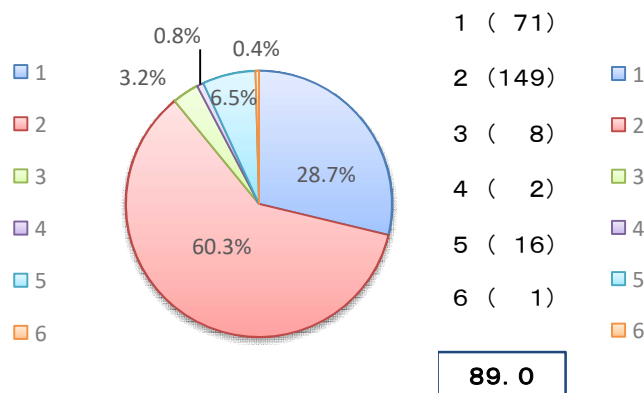
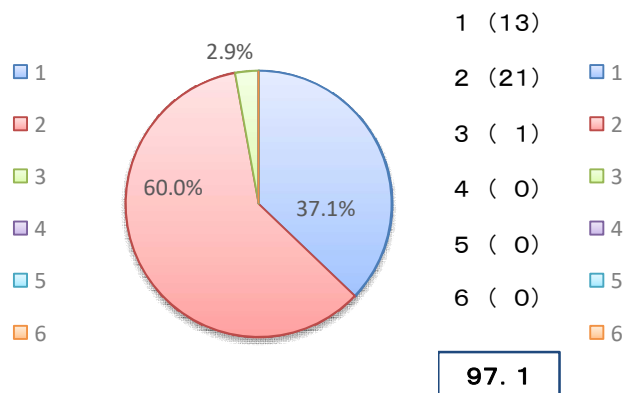


(3) 地域住民が学校を支援することにより、地域の教育力が向上し、地域の活性化につながった

<市町村等> n = 35

<学 校> n = 247

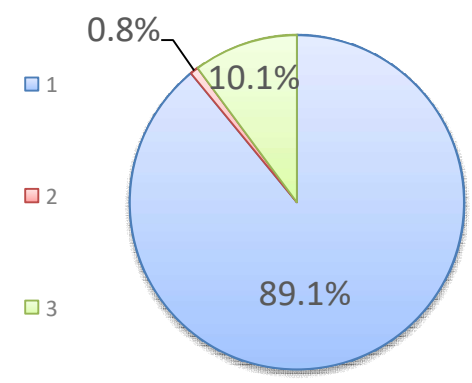
<地域学校協働活動推進員> n = 250



2 コミュニティ・スクールや地域学校協働活動において、子どもの課題解決に取り組むことで改善・解決につながりましたか。（学校取組状況調査より）

選択肢

- 1 改善・解決につながった
- 2 改善・解決につながらなかった
- 3 分からない



n = 247

1 (220)

2 (2)

3 (25)

89.1

3 効果を感じた取組について、具体例を教えてください。

（学校取組状況調査より抜粋）

◆自尊感情・コミュニケーション能力の向上等

- ・教職員とは違った視点で評価してくれたり、声かけをしてくれるため、児童の自尊感情が引き上げられる。
- ・委員と生徒が交流する場合は、生徒の自己肯定感の向上や規範意識及びコミュニケーション能力の育成・向上に貢献している。また、地域の課題について現状を共有して、地域活性化に向けて、ともに考える場となっている。
- ・運営委員会において、生徒会活動の報告を執行役員が行った後、委員と情報共有や意見交流を行った。生徒会の発信の場となり、委員から肯定的な言葉で意見をもらうことで、生徒が自信を持てる場になったり、生徒会活動の見直しの場となったりしている。

◆地域の魅力発見・郷土愛・感謝の気持ち等

- ・たくさんの地域の方に関わっていただき、児童たちにとって、地域の方への感謝の気持ちをもったり、地域の魅力を再確認したりする機会となった。
- ・伝統行事である茶園作業（茶摘み、茶葉選別）は、茶園設立当時のOBの方々も協力してくださっており、当時の話や願い・思い等を共有することができ、生徒は、郷土のことを知るとともに、伝統を継承しているということを地域の方との触れ合いと作業を通して学ぶことができている。

- 毎年「生産者交流」として、地域の特産品について学ぶ機会をいただいています。また、体育や書写等の指導や朝の読み聞かせ、登下校の見守りなど、多くの地域の方に関わっていただいています。これらの活動は、地域を「好き」になることにつながります。子どもたちもとても楽しみにしています。

◆教員の負担軽減等

- 生活科や総合的な学習の時間における地域探検の活動において、地域学校協働活動推進員が、活動の趣旨を理解していただいたうえで、学級担任に地域教材（人・もの）を紹介していただき、児童にとって有意義な活動につながった。併せて、訪問先への訪問要請などを行っていただき、教員の負担軽減につながった。
- 地域学校協働推進員に、1年生ならびに年次が浅い教員学級の学習・生活支援に入っている。個別支援の必要な児童が増えている中、小さな支援の積み重ねが、児童の気持ちの安定や学力保障につながっている。また、学級担任にとっても大きな支援となっており、働き方改革につながっている。
- ミシン補助は子ども、教師どちらの側から見ても成果がなく、最もありがたい学習補助である。事前にミシンの点検もしていただき、授業時間を有効に活用できる点でも大変助かっている。支援してくださる方々は高齢の方が多い傾向にある。活動の継続という点では課題とも考えられるが、保護者よりも高い年齢層の方々との触れ合いも、子どもにとっては様々な人との触れ合いの機会であり、貴重な交流の場とも言える。

（地域学校協働活動推進員取組状況調査より抜粋）

◆効果等

- 1番効果を感じているのは、LINEのオープンチャットを利用していることです。今年は、プールでの事故以来、水泳の授業での見守り依頼がありましたが、本当にたくさんの保護者の方々が来てくださいました。これは一度に**たくさんのボランティアさんに呼びかけることができた**ためだと思います。今後も人数を増やせるよう、広報活動を続けたいです。
- 防災の一環として、各地区の避難場所と地域の史跡等を巡る活動を行った。地域の支援・協力により、防災へのより深い理解と意識の向上がみられたし、児童の**地域への理解や愛着も深まった**。また、地域との関わりが深まることで日々の登下校等でも地域との関わりから**規範意識・コミュニケーション力の向上**が見受けられた。

- 1つの取組でも、年々幅を広げ、振り返り、反省点を見つけながら学校と打ち合わせをしながら1つ1つの行事を進め、地域での見守りも増え、子ども達が町へ出ることで喜んでもらっている様に思う。
- 地域の方が優しい言葉がけで温かく子どもたちを支援してくださり交流してもらうことで、子どもたちが安心して活動ができ感謝の気持ちが芽生える。地域の方々には、子どもたちと触れ合い、子どもたちの力になってもらうことで「楽しかった」と言ってもらえることが多々ある。教員は、調理実習や家庭科の支援など地域の方々に支えてもらうことで、より良い授業になると喜んでいる。
- 子どもたちに、顔や名前を覚えてもらえるため、公園での遊び方や登下校の様子で気になることがあったときに、直接子どもたちに声をかけたり、学校に連絡したりしやすい。また、登校渋りや、登校中のけがなどを見かけたときにも声をかけると、子どもたちは安心してくれた。

(市町村取組状況調査より抜粋)

◆効果等

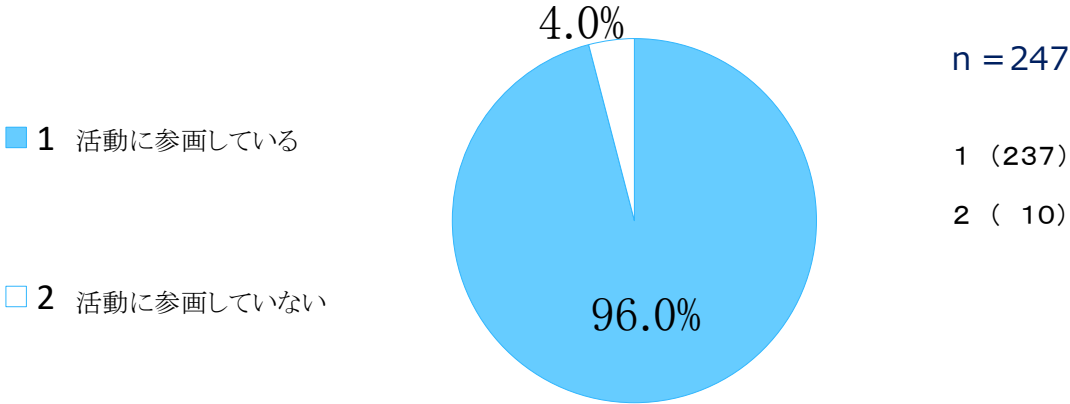
- 地域の方に授業補助が必要な児童のサポートに入っていたいたり、学校行事の運営等について協力をしていただき、学校からは「とても助かっている」という声を聞きます。また、学校の教員では知り得ない知識や人脈を生かし、地域の防災学習・歴史・食育の学習を地域の方に指導していただくことにより、児童の学びに繋げていくことができています。
- それぞれの学校で地域の特性や課題を踏まえた取組みを実施しており、学習支援、クラブ活動、防災学習、地域学習、登下校時の見守りや様々な体験活動等に地域の方が主体的に関わってくれ、学校運営や教員の働き方改革にも繋がっています。
- 学校内に専用教室（コミュニティセンター）を設置したことで、地域学校協働活動推進員が学校と密に連携を取ることができ、学校のニーズにあった地域の方を紹介してもらえる。
- お茶作りや米作りは、地域住民が中心となり児童、教員と一緒に年間を通じて様々な作業工程を実施することで、地域の教育力向上に繋がっている。
- ボランティア構成員として、民生委員・児童委員連絡協議会の協力を得ることで、小学生が地域内で見せる一面を学校と共有できる体制を整えることができた。また、中学生の授業にも見守り活動等に地域住民が関わることで、住民同士の繋がりが強化された。



4 民生委員・児童委員の活動への参画状況

◆県では、民生委員・児童委員が参画し、厳しい環境にある子どもたちの地域による見守り体制を強化した「高知県版地域学校協働本部」への展開を推進しています。

(1) 民生委員・児童委員は活動(登下校・学校外での見守り、学習支援、学校行事、地域学校協働活動推進員等)へ参画していますか。
(学校取組状況調査より)



(2) 民生委員・児童委員の参画による見守りで、効果を感じた具体例がありましたら、ご記入ください。

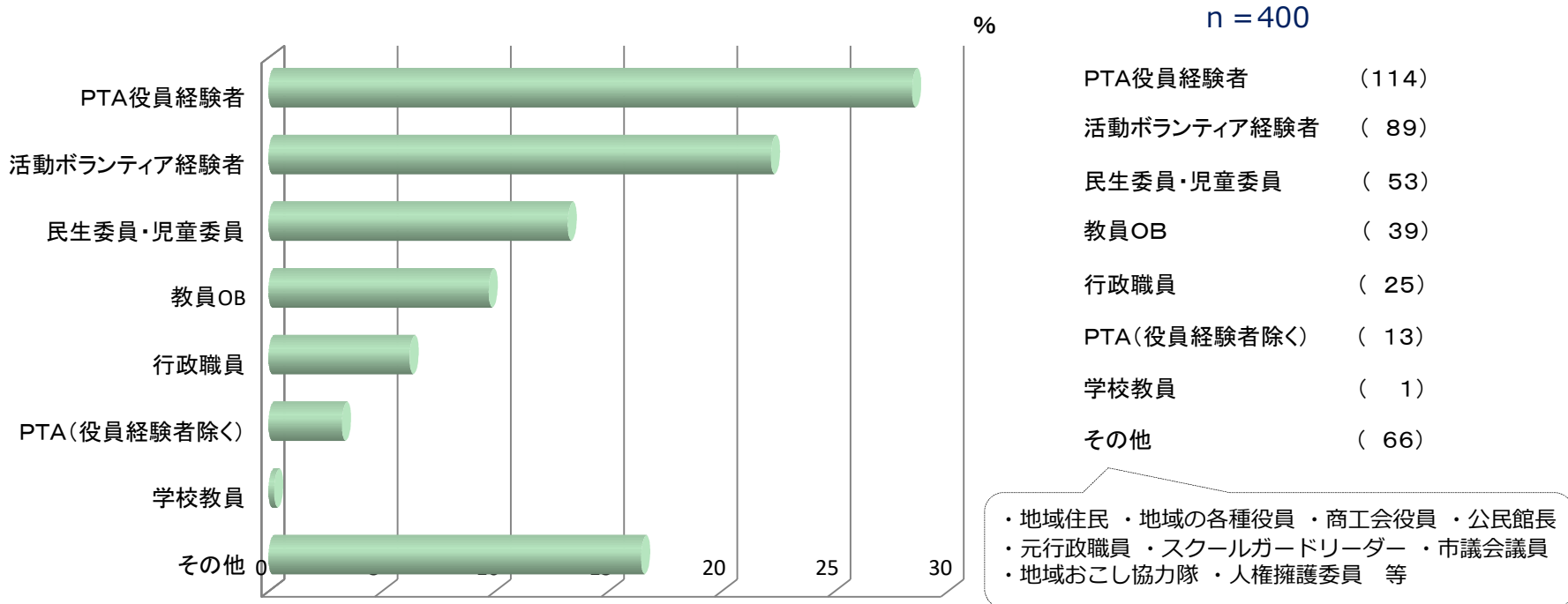
(学校取組状況調査より抜粋)

- ◆効果等
- 登下校の見守りで接触事故にあった生徒への素早い対応と学校への連絡をしてくれた。連絡がつきにくい不登校家庭の状況についてもすぐに連絡をとって情報を提供してくれた
 - 民生委員・児童委員の方々に子どもたちの授業の様子を参観してもらい、情報交換をする中で、厳しい環境にある子どもたちや様々な課題を学校と地域で共有し、子どもをみんなで見守る風土づくりを行っている。そのためにも、お世話になっている人たちの名前と写真を玄関前に掲示し、互いに名前呼び合える関係づくりをめざしている。
 - 学校行事にも積極的に参加してくださっている。少人数なので身体面・心理面の両方に配慮のいる児童にも、情報を共有して対応に連携がとれている。地域の方と防災食を作るときでも、食物アレルギー対応もしてくださって食材を準備していただいた。

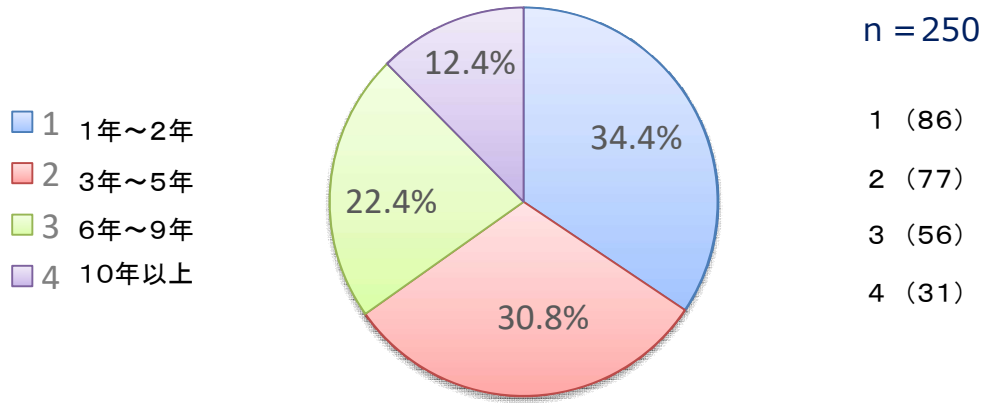
- たくさんの大人に見守られていることで**安心感**や大切にされている感じが子どもたちにも伝わり、うれしそうであると同時に児童は**安心**して学校に来れている。
- 民生委員が定期的に登校時の挨拶運動をしてださり、児童の**挨拶意識の向上**につながっている。不審者情報があった場合に、民生委員などが児童の下校時間帯に見守りをしてくださることが**安全対策**で大きな役割を果たしている。
- 放課後の学習支援では、利用する児童も多く、**安心**して学習ができており、児童も保護者にとっても大切な場所になっている。
- 年に4回、民生・児童委員の参画による「ふれあいデー」を行っている。隣接のこども園と本校の低学年が主に参加するが、園児や児童は民生・児童委員と親しくなり、民生・児童委員は園児や児童の顔や名前を憶えてくださる良い機会である。本校は校区が広く、放課後や長期休業期間の児童の様子が見えにくいのだが、各地区の民生・児童委員が見守ってくださっていることに**安心感**を持つことができる。
- 本校校区担当の民生委員の方々は、地域での保護者との繋がりが強く、子どもたちだけでなく保護者の様子を含めた家庭環境について把握しており、学校に対して**積極的に情報提供**をしてくださっている。学校行事や参観日等、学校に来ていただく機会を設定し、学校の中で子どもたちの様子を見ていただくことにより、子どもたちにとっても身近な存在となっている。
- 学期に1回程度であるが、学校と委員が**情報を交流・共有**する場を設定している。学校からは日々の取組（学力対策や行事等の報告）や生徒の様子（いじめ・不登校・虐待に係る現状）を説明。委員からは地域の声など、様々な情報（家庭の状況や不登校・虐待に係る情報、登下校の生徒の様子等）を提供していただいている。得られた情報は**教職員で共有**を図り、生徒支援等に生かすようしている。
- 主任児童委員さんが中学校の地域コーディネーターであることから、**園・小・中の情報を共有**しながら活動できている。学校に来づらい児童の家庭の様子なども共有することができた。また、放課後子ども教室の指導員を兼務されている方からは、子ども教室での様子なども知らせていただくことができた。
- 支援会や見守り等で情報を提供していただいたり直接声をかけていただいたりすることで、学校外での様子が把握でき、保護者へ子どもの様子を伝えたり、支援方法を一緒に考えたりすることができた。

5 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）について

(1) あなたの属性を教えてください。（地域学校協働活動推進員取組状況調査より）【複数回答のため、重複あり】



(2) 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）として活動している年数を教えてください



(学校取組状況調査より抜粋)

◆課題等

- ・地域で活動してくれる方が固定化されており、高齢化が進んでいること、後継者の姿が見えないことなどを考えると今後の展望がもちにくい。
- ・本校は、たくさんの方が学校活動に協力をしてくれている。そういった活動について、教員・児童の意識が薄いと感じることがある。もう少し、管理職の方で、地域学校協働本部の活動について発信していく必要がある。
- ・学校運営協議会には委員として名を連ねていただくものの、地域学校協働本部として意識した取組まで学校も民生児童委員さんも高められていない。
- ・活動の振り返りが出来ていない。より良く取組を進めていくためには、振り返りの時間を確保したいです。

◆ご意見等

- ・地域との交流を継続し、活動の充実を図るためにも、地域とのかかわりを各学年の教育課程に入れ込んだ年間計画等を作成し、早めに地域の方へ行事や活動についてお知らせすることが必要である。
- ・書類、手続き、報告、アンケート等、かなりの業務が複雑で多いように思う。教頭、事務職員、地教委担当者の手間が多く、担当者として大きな負担を感じている。これでは本末転倒である。たくさんの地域人材の協力を得ることはありがたいが、取り組みの前後の事務作業や報告、聞き取り等のシンプル化や削減をすすめていただき、担当者（教頭、事務職員、地教委担当者等）の負担を軽減してもらいたい。

(地域学校協働活動推進員取組状況調査より抜粋)

◆課題等

- ・協力できるメンバーが固定化され、若いメンバーが少ないため、今後の存続が危ぶまれる。若いメンバーを募集し、活動の活性化をしていかなければならない。
- ・平日の子どもの活動に合わせることができない大人や高齢者が多くいて、生徒の意欲に十分応えられる地域のキャパシティがない。また、地域の取組の周知が不十分で学校と共に歩みを進めるためには、それぞれが工夫していかなければならない。
- ・地域住民も学校教員の皆さんも、開かれた学校づくりの頃のままでの感覚で事業を捉えていると強く感じる。国や教委が政策として取り組んでいることをもっと全ての人に向けて周知しないと、この事業は持続可能なシステムとして構築するのは困難すぎます・・・。

◆ご意見等

- ・県全体の研修だけでなく、町内のコーディネーターや関係者と事例共有や課題解決への学びにつながる場がほしい。県の研修では学校規模や地域特性が本校と違いすぎて取り入れにくいこともあるので。
- ・もっと広く活動を知ってもらおう。地域学校協働活動推進員同士の交流を活性化する。
- ・学校が地域とつながるためには、「今の学校」がどのような活動をしているかを、地域に広く知ってもらうことが大切である。①卒業生やその保護者には、母校としての思いを大切に育て、②在校生と保護者には、今の教育活動に関心を持ち協力をしてもらおう。また、③保育園児の保護者には、これから我が子が入学し育っていく学校に関心を持ち、家庭教育に活かしてもらおう。そのために、校区の町内会単位で学校便りを回覧するようにしてはどうかと考える。

(市町村取組状況調査より抜粋)

◆課題等

- ・各学校の活動内容が把握しきれていない。活動しているところを見たりすることができていない。
- ・推進員等の学校と地域をつなぐ担い手が今後不足していく懸念がある。また、コミュニティスクールや地域学校協働本部の取組そのものに教員の時間が割かれ、教員の負担軽減とは逆行する学校現場もある。
- ・運営協議会などの会議や活動などについては学校の管理職だけではなく、教職員も積極的に携わり、校内でも意識を高めていくことが重要。現状、ほとんどの学校が管理職のみの参画。

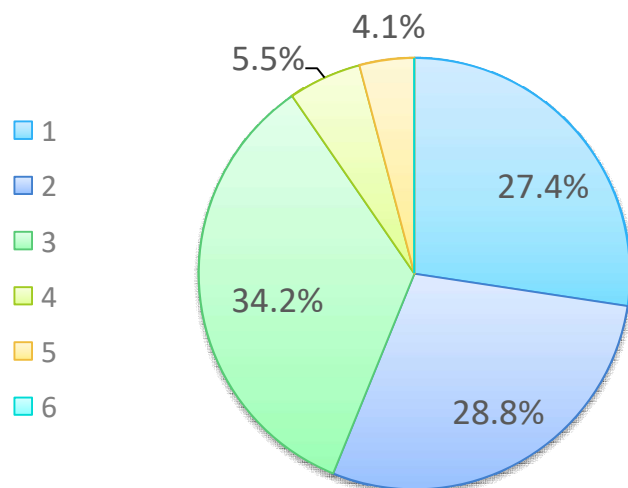
◆ご意見等

- ・この事業は推進員が学校の困りごとを、しっかりと理解することで学校と地域を上手く繋ぐことができると考える。この春、学校訪問を実施してみると、学校によっては推進員と学校側（管理職や教職員）との情報共有がしっかり行われておらず、推進員が何をしていいのかわからないという実態も見受けられた。この制度をしっかりと活用している学校と、そうでない学校との温度差を感じた。このままでは、学校間格差が拡大し、児童生徒と地域とのつながりや、地域住民の学校に対する思いも薄らいでいくようで危機感を感じる。
- ・学校運営協議会と一体的な推進を図り、働き方改革や各校の課題の解決に向けた取り組みを一層推進する必要がある。
- ・学校訪問や研修を通じて管理職や教職員に対して、制度の周知や好事例の発信及び課題解決を行うことと併せて、市長部局と連携し、地域住民に対しても働きかけることが必要だと考えている。

7 各本部の実施状況について、どのような方法で把握をしていますか。

(市町村取組状況調査より) 【複数回答のため、重複あり】

n = 73



1 運営委員会等の会議に出席している (20)

2 地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)と情報共有している (21)

3 学校と情報共有している (25)

4 研修会を実施し、取組状況を共有している (4)

5 その他 (3)

- ・推進員・支援員の日誌にて活動内容等の情報を得ている。
- ・1学期に各学校を訪問し、管理職と推進員同席のもと、活動の状況や課題について話を伺っている。

6 無回答 (0)

活動の推進に向けて

- 地域学校協働本部の取組について、市町村広報誌や地域に関係の深い団体・組織のネットワーク等を活用して、積極的に情報発信しましょう。
- 学校と連携し、地域や学校の特色・実状に合った地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)を探しましょう。
- 運営委員会で、事業計画、広報や人材確保の方策、活動プログラムの企画、事業の検証等を行って、特色・魅力ある地域学校協働本部の取組を推進しましょう。
- 地域学校協働本部の事例集・ハンドブックを活用した情報提供や積極的な研修会参加による学び、地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)同士の交流機会設定等を通して、地域学校協働本部の取組の充実や関係者の資質向上・育成につなげましょう。
- 地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)や地域ボランティアの傷害保険への加入等、万一の場合に備えましょう。
- 円滑で効果的に活動が推進されるよう地域学校協働活動推進員を委嘱することや、地域学校協働本部と学校運営協議会の機能を効果的に高めていくために地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)を学校運営協議会の委員とすることを検討しましょう。

令和6年12月31日現在

登録状況	個 人	企業・団体	協 力 企業・団体
	318	61	63

登録者の属性は、大学生16、
現職教員13、退職教員10、塾講師9、
その他270、登録企業・団体61、協力企業・団体
63

【市町村別登録者数】

令和6年12月31日現在

NO.	市 町 村	登 録 数		協 力 企業・団体	NO.	市 町 村	登 録 数		協 力 企業・団体
		個 人	企業・団体				個 人	企業・団体	
1	室戸市	8	0	1	19	大豊町	2	0	0
2	安芸市	2	0	0	20	土佐町	0	0	1
3	南国市	27	1	4	21	大川村	0	0	0
4	土佐市	15	1	0	22	いの町	20	3	0
5	須崎市	12	4	0	23	仁淀川町	3	0	0
6	宿毛市	9	0	0	24	中土佐町	1	0	0
7	土佐清水市	7	0	0	25	佐川町	6	0	0
8	四万十市	9	1	0	26	越知町	0	0	1
9	香南市	15	1	2	27	梶原町	1	0	0
10	香美市	26	1	2	28	日高村	3	1	2
11	東洋町	0	0	0	29	津野町	0	0	0
12	奈半利町	0	0	0	30	四万十町	7	3	0
13	田野町	1	0	1	31	大月町	1	2	0
14	安田町	3	0	0	32	三原村	0	0	1
15	北川村	0	0	0	33	黒潮町	5	1	1
16	馬路村	0	0	0	34	高知市	130	42	46
17	芸西村	2	0	1		県 外	1	0	0
18	本山町	2	0	0		合 計	318	61	63

【団体登録及び協力団体】

登 録 企 業

令和6年12月31日現在（順不同）

No.	登録企業名	協力内容	No.	登録企業名	協力内容
1	株式会社 相愛	出前講座	19	株式会社 フタガミ	出前講座
2	ほけんの110番	出前講座	20	有限会社 香北電機	出前講座
3	桂浜水族館	職場体験・出前講座	21	株式会社 伽羅果	出前講座
4	丸の内法律事務所	出前講座	22	中宏文 建築設計事務所	出前講座
5	株式会社 JAEナジーこうち	職場見学・職場体験	23	ミタニ建設工業株式会社	出前講座
6	株式会社 ソニック	出前講座	24	ダイニングプランナー株式会社	出前講座
7	清和アグリ株式会社	出前講座	25	明神水産株式会社	職場体験・出前講座
8	コーチ社労士事務所	職場体験・出前講座	26	四国運輸株式会社	職場体験・出前講座
9	株式会社 RT	職場見学・職場体験	27	株式会社 タケナカダンボール	職場体験・出前講座
10	株式会社 クイーク	職場体験・出前講座	28	株式会社 土佐龍	出前講座
11	株式会社 建商	出前講座	29	株式会社 ひがき	出前講座
12	株式会社 オルトル	出前講座	30	株式会社 日東商事	出前講座
13	株式会社 アイユート	職場体験・出前講座	31	有限会社 高知事務機	出前講座
14	栄産業株式会社	職場体験・出前講座	32	株式会社 かんぼ生命保険高知支社	出前講座
15	レンタル衣装わがば	出前講座	33	有限会社 ラヴィ・ポーテ	出前講座
16	高橋裕忠行政書士事務所	出前講座	34	CEN 株式会社	出前講座
17	内外典具帖紙株式会社	出前講座	35	幡多信用金庫	出前講座
18	学校法人 平成学園	出前講座			

登 録 団 体

No.	登録団体名	協力内容	No.	登録団体名	協力内容
1	NPO法人こうちサポートネットワークイン	人材紹介・派遣	14	NPO法人四国自然科学研究センター	出前講座
2	環境活動支援センターえごらぼ	出前講座・人材派遣	15	かわうその里お話の会	出前講座
3	高知県シェリングネイチャー協会	出前講座	16	四万十学舎	出前講座
4	高知県生涯学習インストラクター協会	研修会講師・啓もう活動	17	本のちよつとのあ・い・だ	出前講座
5	高知県赤十字血液センター	出前講座	18	出前訪問サークルひめじょおん	校外体験学習
6	高知県地球温暖化防止推進委員の会	出前講座	19	四万十ふれあい動物村 プレーメン	出前講座
7	高知県美容生活衛生同業組合	情報提供・人材紹介	20	NPO法人黒潮実感センター	出前講座
8	高知県理容生活衛生同業組合	情報提供・人材紹介	21	海辺の自然史研究舎	出前講座
9	高知コンサート・グループ香南支部	出前講座	22	日本3B体操協会高知県支部	出前講座
10	しまんと新聞ぽっく高知支部	出前講座	23	WSS-JAPAN四国支社	出前講座
11	新需要開拓マーケティング協議会	出前講座	24	（一財）高知県環境検査センター	出前講座
12	はくみプロジェクト	研修会講師・研修会講師	25	103DAMA（とさ玉・けん玉）	出前講座
13	腹話術高知	出前講座	26	田邊塾	出前講座

協 力 企 業

No.	協力企業名	協力内容	No.	協力企業名	協力内容
1	不二電気工芸株式会社	出前講座	10	株式会社ダスキンシーマート	出前講座
2	宮地電機株式会社	出前講座	11	高知県農業協同組合春野支所	出前講座
3	株式会社四国銀行	出前講座	12	株式会社エースワン	出前講座
4	株式会社高知銀行	出前講座	13	有限会社ロイヤル	出前講座
5	四国ライフケア	出前講座	14	川北印刷株式会社	出前講座
6	株式会社浜幸	出前講座・職場見学	15	高知放送	出前講座
7	新進電気販売株式会社	出前講座	16	高知新聞社	出前講座
8	城西館	出前講座	17	日産サティオ高知SIS事業部	出前講座
9	有限会社栄樹造園	出前講座	18	株式会社ダイセ	出前講座

協 力 団 体

No.	協力団体名	協力内容	No.	協力団体名	協力内容
1	高知県金融広報委員会（日銀高知支店内）	出前講座	25	山・川・海の会	出前講座
2	『地球村』高知	出前講座	26	高知クナフ普及会	出前講座
3	高知県森林研修センター情報交流館	出前講座・講師派遣	27	鏡川下流の貝を育てる会	出前講座
4	高知県ボランティアNPOセンター	人材紹介	28	こうちフィールドミュージアム協会	出前講座
5	公益財団法人高知市文化振興事業団	人材紹介	29	四国カーボンオフセット推進協議会	出前講座
6	放送大学	人材紹介	30	劇団笛の会	出前講座
7	公益財団法人土佐山内家宝物資料館	出前講座	31	日本けん玉協会	出前講座
8	NPO法人ももたろう企画	出前講座	32	日本赤十字高知県支部	研修会講師
9	高知県スポーツチャンバラ協会	出前講座	33	高知コア研究所	施設見学等
10	ぶらうらんど	研修会講師	34	農と生き物研究所	出前講座
11	高知県のいち動物公園協会	出前講座	35	認NPO法人定カンガルーの会	研修会講師
12	高知県立月見山こどもの森	出前講座	36	NPO法人469maネット	出前講座
13	工房ボレボレ	出前講座	37	土佐の国 笑いと癒し研究所	出前講座・研修会講師
14	株式会社四万十ドラマ	出前講座	38	高知大学	人材紹介・出前講座
15	株式会社奇想天外（海洋堂ホビー館四万十）	出前講座	39	高知工科大学	人材紹介・出前講座
16	高知県聴覚障害者協会	出前講座	40	一般社団法人Peaeo of New Farth	人材紹介
17	ボーイスカウト高知県連盟	出前講座	41	コッコ・サン	本の寄贈
18	S K . 未来創造研究所	研修会講師	42	土佐和紙ちぎり絵交流会	出前講座・研修会講師
19	高知県レクリエーション協会	出前講座	43	高知県スポーツ冤ごっこ連盟	出前講座
20	千斗枝グローバル教育研究所	出前講座・研修会講師	44	高知県埋蔵文化財センター	出前講座
21	樹づくり工房夢遊	出前講座	45	高知地方気象台	出前講座
22	高知県立牧野植物園	出前講座	46		
23	高知自然学校連絡会	出前講座	47		
24	土佐竹とんぼの会	出前講座			

【市町村別出前講座申込・開催状況】

令和6年12月31現在

	実施数	開催済						未開催	中止・キャンセル		マッチング不調	申込数
		子ども教室	合同	児童クラブ	合同	教室・クラブで合同	その他	1月～開催予定	自然災害感染症予防措置	主催者・講師の都合		
		マ ッ チ ン グ 済 み										
高知市	11			6	1		4	2	1			14
室戸市	2						2					2
安芸市	4	2		2							1	5
南国市	33	5		25			3		1		5	39
土佐市	4			2			2				1	5
須崎市	19	4		12			3		1	1		21
宿毛市	1						1				1	2
土佐清水市	1			1								1
四万十市	8			3	5						3	11
香南市	27	4		19	4			1			3	31
香美市	6			6							2	8
東洋町												
奈半利町	1						1				1	2
田野町												
安田町	2	2							2			4
北川村												
馬路村	1	1										1
芸西村	1	1										1
本山町	2		1				1				1	3
大豊町	3	3							1			4
土佐町												
大川村	3	3										3
いの町	3	3							3		1	7
仁淀川町	6	6										6
中土佐町	2	1					1		1			3
佐川町												
越知町												
梼原町												
日高村	6			5			1				4	10
津野町	8	8									1	9
四万十町	4	3		1					2		1	7
大月町												
三原村												
黒潮町												
合 計	158	46	1	82	10		19	3	12	1	25	199
マッチング件数		174										

【出前講座箇所別マッチング状況】

子ども教室：46 子ども教室の合同：1 児童クラブ：82 児童クラブの合同：10 子ども教室と児童クラブの合同：0
 その他：19（※その他はPTA学年行事、社会福祉協議会、公民館行事等。） 開催予定（1月～）：3
 自然災害（台風）による中止：12 講師の都合によるキャンセル：1 日程合わずマッチング不調：25

【マッチング先別人数】

令和6年12月31日現在 延べ人数

学習支援・サポーター等			講師及び補助		その他	合計
子ども教室 学習室（小）	学習室 （中学校）	児童クラブ	出前講座	研修会等		
	0	0	243	2	0	245

【出前講座申込・開催状況の推移】

年度	出前講座申込数	出前講座開催回数	夏季(7～8月)出前講座 申込数	夏季(7～8月)出前講座 開催回数
2020	145	102	110	89
2021	149	109	127	95
2022	178	119	145	99
2023	184	137	168	125
2024(4～12月)	199	160	50	140

【令和5年度出前講座実施状況及び参加者数】

参加者（延べ人数） 令和6年12月31日現在

参加小学生数	参加支援員数	参加保護者等	その他参加者	計
4,461	753	87	152	5,453

講師データ(職種別延べ人数) 令和6年12月31日現在

高校生	大学生	現職教員	退職教員	塾講師	その他	企業	団体	合計
0	5	16	18	1	117	4	82	243

講座別実施回数 令和6年12月31日現在

ものづくり									
ミニチュアガーデン②	石けんクラフト	ジェルキャンドル作り	植木鉢風りん	森林学習と木工作	森林学習とペン立て作り	森林学習と万華鏡づくり	貝殻のクラフト(1)	森林学習と写真立て作り	ハーバリウム作り2
9	2	8	5	8	1	1	2	1	1
ものづくり									
バイドカービング	ストーンアート	木の実の工作2【クラフト】	こけ玉	森林学習とレターラック作り	森林学習とプラランター作り	色砂の鉢植え(ハイドロカルチャー)	五連発輪ゴム鉄砲作り	磁器絵付け【マグカップ】	空気砲であそぼう
1	1	1	2	1	1	2	5	5	4
ものづくり		体験							
リース作り	巨大シャボン玉作り	けん玉教室	筒けん教室	早押しクイズ	思いやりの魔法	ジャグリング	バルーンアート	けん玉教室103DAMA	キッズヨーガ
2	1	6	8	2	1	2	7	1	1
体験									学ぶ
けん玉教室	筒けん教室	早押しクイズ	思いやりの魔法	ジャグリング	バルーンアート	けん玉教室103DAMA	キッズヨーガ	バドミントン教室	地震の話【防災学習】
5	7	2	1	2	7	1	1	1	6
学ぶ									
十六4ミリ映画会	Eco学習(エコライフゲーム)	川柳教室	防犯教室	水の話	おもしろ科学教室(1)人力発電	星のはなし【星空観察】	おもしろ歴史講談	おもしろ算数教室	おもしろ科学教室(2)光るグミ
7	1	2	3	2	1	2	1	1	3
学ぶ		その他							
マンガ教室	押し花アート	マジックショー	マジックショandマジック教室	腹話術					
1	1	14	11	4					

令和6年12月31日現在

～60%	61～70%	71～80%	81～90%	91～100%
4	1	3	20	60

【個人講師(居住地別)の各市町村における講座実施回数】

令和6年12月31日現在

開催地 講師 居住地	講師 居住地																												計							
	室戸市	安芸市	香南市	香美市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村	南国市	土佐市	須崎市	本山町	大豊町	土佐町	大川村	いの町	仁淀川町	中土佐町	佐川町	越知町	梶原町	日高村	津野町	四万十町	宿毛市		土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町	高知市	
室戸市																																			0	
安芸市																																			0	
香南市				4						1		4	1												2										12	
香美市	2	3	2			1		1				10		2				1								1	1			2					26	
東洋町																																			0	
奈半利町																																			0	
田野町																																			0	
安田町																																			0	
北川村																																			0	
馬路村																																			0	
芸西村																																			0	
南国市				1								3	1	1												1									7	
土佐市				1								3	2	5																			1		12	
須崎市																																			0	
本山町																																			0	
大豊町																																			0	
土佐町																																			0	
大川村																																			0	
いの町					1																														1	
仁淀川町																																			0	
中土佐町																																			0	
佐川町																				3															3	
越知町																																			0	
梶原町																																			0	
日高村																																			0	
津野町																																			0	
四万十町												3		1					1							1				2				1	9	
宿毛市																																			0	
土佐清水市																																			0	
四万十市																															2				2	
大月町																																			0	
三原村																																			0	
黒潮町																																			0	
高知市			1	17	4			2			1	13		10	2	3		2	2	3	2				4	5	3		1	1	1				9	86
計	2	4	25	5	0	1	0	3	0	1	1	36	4	19	2	3	0	3	3	6	2	0	0	0	6	8	4	1	1	7	0	0	0	11	158	